

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1690200462		
法人名	社会福祉法人 戸出福祉会		
事業所名	グループホーム中田館		
所在地	富山県高岡市下麻生89番2		
自己評価作成日	平成29年4月 12日	評価結果市町村受理日	平成29年 月 日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	www.toyama-shakyo.or.jp/kouhyou/
----------	--

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	一般社団法人 富山県介護福祉士会		
所在地	939-8084 富山県富山市西中野町1-1-18 オフィス西中野ビル1階		
訪問調査日	平成29年4月26日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

・29年度の行動指針をグループホーム職員で意見を聞いて決めています。「利用者様が「五感」で感じるにより自然に生まれる「楽しみ」を大切にできる日常生活の支援や関わりを展開できるチーム作り」となりました。
 ・利用者の意向に沿ったケアの実現に向け「情報共有ノート」に日々の感じたことや職員間の確認事項など記入して取り組んでいます。また、職員の研修は年間計画にて様々な研修を行っています。外部研修にも積極的に参加しています。最近受講した研修では京都で開催されたユニットリーダー研修を受講しています。
 ・同一敷地内には他の介護保険サービス事業所もありイベントを行う際には他の事業所職員と協力して利用者様・入居者様が楽しんでいただける様、取り組んでいます。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

運営法人である社会福祉法人戸出福祉会は特別養護老人ホーム、通所介護、訪問介護、地域密着型サービス小規模多機能等を運営する大規模な法人であり、職員の研修体制が整備され職員は研鑽の機会が多くスキルアップする体制が整っている。また、グループホームと同敷地内にデイサービス、認知症デイサービス、居宅介護支援事業所、小規模多機能型居宅介護が併設されており、要介護者、非介護者の状況に応じて、住み慣れた地域、馴染みのある環境で段階的にサービスが選択できる。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	各ユニット内に法人理念を掲示し職員間で共有できるようにしている。また、職員の意見を取り入れて年度の事業所目標や行動指針を作成し、地域との関わりや利用者との関係作りの実践につなげている。	法人の理念「おもいやりと心豊かな介護をと おして、地域に愛され信頼される施設を目指します。」をもとに毎年3月に事業所目標・行動指針を作成し実践に努めている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の納涼祭や小学校の文化祭などの行事に参加、また地域の方と一緒に防災について話し合う機会をつくった。地域のボランティアの方が草むしりや入居者と将棋を行って頂いている。	地域の小学校行事への参加、保育園児の慰問、地域ボランティアとの交流等、積極的に行われている。その様子は施設の広報誌掲載の写真から楽しそうにふれあう様子がうかがえた。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	入居者様やそのご家族には支援している。包括支援センター主催の「地域づくりの会」に参加。地域のニーズを知る機会となった。事業所内では認知症の研修や勉強会を実施している。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議で地域の情報収集に努めている。また、参加者からの提案意見を実践につなげている。議事録については家族等の来所者に見て頂けるよう館内に設置している。	2ヶ月に1回、併設されている小規模多機能型居宅介護事業所と合同で開催されている。自治会長、民生委員、障害協会理事、御利用者ならび御家族、各事業所管理者、中田館館長が参加している。事業所の活動状況の報告の他、地域の情報を知る機会に繋がっている。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	制度に関する質問や確認、相談等について、管理者が市町村担当者と連絡を取っている。また、地域包括支援センターとは運営推進会議や利用者のケアサービスにおいて助言をもらう等の連携を図っている。	市の担当者とは、相談等があればいつでも相談できる体制ができている。高岡市の委託機関である地域包括支援センターとは地域運営推進会議をと おして事業所の実情を伝えたり、困っている事があれば気軽に相談できる体制がある。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束に関する研修を行い理解に努めている。安全上、自動施錠設備も一部設置してあるが利用者の希望に応じてその都度開錠して対応している。	年1回法人全体で身体拘束に関する研修会が開催されており、その他に事業所内でも研修を行い不適切ケアに繋がらないように努めている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止に関する研修を行っており防止に努めている。虐待として捉えられるような強い言葉遣いにならぬよう注意を払っている。また、会議等で利用者への対応方法等を職員間で確認している。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	権利擁護に関する制度について学ぶ機会の確保ができていないが、職員個々で勉強している。入居者の保証人が遠方のため成年後見制度の必要性を検討したこともあり。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約に関する説明は行っており、契約後のトラブルやクレームはほとんど見られない。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	主にご家族面会時に要望等の確認を行っている。要望等については記録し職員間で共有し、可能な限り対応している。	ご家族が面会に来られた時に要望等を聴くようにしている。ご家族からの要望等は申し送りノートを利用し、職員間で共有している。内容によってはケアプランに盛り込むなどしている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	定例会議や各委員会、日々の申し送り等で意見や提案を伝える機会を設けている。内容に応じて法人に協議課題としても提案し検討してもらっている。管理者も定期的に職員個々に話を聞く機会を設けている。	会議等の他に、年2回職員との人事考課の為の個人目標達成に向けた個人面談が実施されており、その時にあわせて職員の提案や意見を聴く仕組みがある。また管理者は現場で共に業務をしているので、いつでも提案や要望など相談できる体制である。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員個々の予定等に極力配慮した勤務を組んでいる。自主的に研修に参加している職員には一部、費用の負担の支援も行っている。悩みや相談対応も含め、職場環境の整備に努めている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	28年度は中田館で11回の研修及び勉強会を実施している。その他にも法人で全体研修や職員の階層区分、職種別にも研修を実施している。自主的な外部研修への参加者にも勤務の配慮や費用の負担支援を行っている。 □		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	法人内の他サービス事業と交流を図り互いのサービスについて見直す機会を持った。外部の研修に参加した職員は他の施設職員と意見交換など行っている。		

自己	外部	項目	外部評価	
			自己評価 実践状況	実践状況 次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	本人の話を傾聴し、安心して過ごせるよう支援ならびに環境づくり、関係作りに努めている。 職員によって対応が異なり、不安を与える現状もあるため記録や定例会議等で情報の共有に努めている。	
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	サービスを導入する前にご家族の不安や要望等を確認している。また、導入後の様子等についても主にご家族の面会時や受診時等、必要に応じて本人の様子を伝えている。	
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	状況の変化に応じて柔軟に対応できるよう、その都度必要な支援について職員間で協議し対応できるよう努めている。	
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	暮らしの中で、本人に役割を持って生活できるよう努めている。職員の業務についても手伝ってもらうこともある。	
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族には自由に面会を行ってもらっている。その際に本人の様子を伝え、受診や外出、面会を通して本人との関係を大切にもらえるよう努めている。また、本人への言葉かけなど、ご家族にしかできない支援の協力をお願いしている。	
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族以外の親戚や知人との面会や電話についても自由に行ってもらっている。同一敷地内の他サービスを利用している知人との交流や、馴染みのある場所に出外する機会も確保している。	ご利用者のプライバシーに配慮しながら、ご家族以外の方とのこれまでのお付き合いが、途切れないように電話の取次ぎや、面会時ゆっくり過ごしていただけるよう支援している。
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居者様同士の関係に配慮したテーブル配置等の環境整備に努めている。掃除や洗濯などの家事作業を分担したり、レクリエーション活動を通して関わり合ったりする機会を設けている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービス利用後の経過を確認することはしているが、相談を受けるまでのケースは現状ない。契約終了時には、いつでも相談に応じる旨は伝えている。関係機関等にも契約終了後の生活に支障が出ないように、つないでいる。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	退院時に病院より「認知症により食事、水分摂取が口から摂取できないが医療的な部分に問題がない」方が戻られるに当たり、ご家族、地域医療の先生と協力してその方の「思い」を大切に生活支援を行っている。	日々のケアの関わりの中から、思いや意向について聴きとった事実を記録に残し、職員間で情報の共有と記録の中からの情報で日常生活支援に活かせるようケアプランへ反映している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人やご家族から話を伺い、これまでの日課や習慣等が継続できるよう支援に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人ひとりの生活スタイルや意向等に応じて役割を持ってもらうよう働きかけている。一人ひとりの有する力を十分に発揮してもらっていない面もあり、意欲を引き出す支援の工夫に努めていく。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	介護計画の評価は担当職員が中心となって職員個々の意見を集めている。今後の支援提案等については日々の業務や定例会議等で協議し、評価内容も踏まえて介護計画を作成している。作成した介護計画については家族に説明し同意を得ている。	通常は6ヶ月に1度のペースで介護計画(ケアプラン)の実施状況を評価し、心身の状況の変化があった時は3ヶ月またはその都度計画の見直しを行っている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子については記録に残すよう努めている。記録内容や職員の気づきを共有し介護計画の見直しにも役立てている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	併設している他サービスとの交流や行事など共有して対応することも行っている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の行事や体操教室に参加したり、将棋相手のボランティアを受け入れたりしている。また、戸出消防署と共同で避難訓練を行ったり地域資源を活かして防災教室を実施した。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	基本的にはこれまでのかかりつけ医に診てもらっており、本人の様子等の情報を伝え、ご家族に付き添いをお願いしている。受診に行く事が難しい方については往診対応ができる病院を紹介する等の対応をしている。	受診の支援として、主治医が求める情報、例えば血圧の情報であったり食事摂取や排泄の情報、または日常生活の様子など、必要な情報の記録をご家族を通して、提供している。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	医療面の相談必要時は随時、他事業所の看護職に相談、報告をして対応している。必要に応じて受診も勧めている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	退院前には医療機関に出向き利用者の容態や今後の支援についての留意点等を確認している。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	サービス利用前に本人、ご家族に重度化や終末期のあり方の意向を確認しているが、直面しないと考えられないという方が多い現状。状態が急激に変わった方に関してはご家族との話し合いを持ち対応等の検討を行うよう努めている。	入居契約時に重要説明事項にて、重度化(看取り)に対するホームの対応を伝えている。ホームでの生活の継続が困難になった場合は、早めに主治医に相談したり、その方にどんな施設や病院が良いのかご家族へ情報提供している。	重度化や看取りに対して、出来る事できない事を明記された物の整備されることを期待したい。また看取りの実施はなくても職員が急な状況の変化に対応できるよう研修等の実施を期待したい。
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	利用者の急変時の対応については周知されている。応急処置や初期対応の実践力をつける機会の確保は十分であるとは言えない。平成28年1月にAEDを購入して講習会を行っている。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年に2回、昼間、夜間を想定した避難訓練を実施している。3月に行った避難訓練は戸出消防署と合同で糸魚川火災想定で行った。	年2回の火災訓練や、地域の方も交え災害図上訓練後、炊き出しを実施したりしており、防災の意識が高い。地域と合同での避難訓練では、実際に地域の方に入居者の避難介助をおこなってもらったりしている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	個人情報基本指針に基づき、利用者の写真の取り扱いや掲示についても入居者様及びご家族の意向を確認し同意を得ている。また、個人情報の取り扱いに関する研修を定期的実施している。	年間の研修計画にプライバシー保護に関する項目が盛り込まれていて、個人の尊厳プライバシーの保護について周知している。入居者の居室に入室時は個人のプライベートスペースの意識をもち配慮している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	買い物に行く時は何を買いたいのか行きたい店の確認を行い、自己決定ができるよう関わっている。高価な物を希望された時は理由を確認している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	テーブル拭きを希望される方には行っていただいているが食事中の入居者様の御膳を下げてまで行うので共同生活の場であることを伝えて配慮してもらっている。現状を伝える為に職員側の都合を理由にする場面もある。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	衣類にこだわりを持つ入居者様は、ご自分で衣服を決められるよう対応している。身だしなみについても整えるよう支援している。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	季節に合った食事ができるよう努めている。また定期的に利用者と共におやつをつくる機会も作っている。また、準備や片づけ等もできる方、したい方と共にいる。	普段の食事では盛り付けを一緒に行ったり、おやつを作る機会を設けている。その他にお寿司、うどん等外食にでかけ楽しく食べる機会をつくっている。お誕生日の方がおられる日は赤飯で祝っている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事の摂取量については記録をとり体調管理の指標にしている。水分摂取量の把握については必要な利用者に応じて記録している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の一人ひとりに応じた口腔ケアを勧めている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	24時間対応排泄表に記録し、一人ひとりの間隔等に応じて定期的な誘導や声かけを行いトイレでの排泄支援に努めている。	排泄チェックシートを使い、トイレでの排泄を意識し、適宜トイレ誘導している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分摂取や運動を勧めている。利用者によっては飲食物の工夫や下剤調節の対応をしている。24時間対応排泄表に排便の有無を記録している。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	基本的には曜日や時間帯を決めて対応しているが、個々の希望や体調等に応じて日を変更する等柔軟に対応している。入浴剤等の活用やシャワー浴など入居者様の希望に沿って対応している。	基本的な入浴日や時間は決めているものの、状況に応じて柔軟に対応している。お風呂を楽しんでもらう工夫としては入浴剤を使ったり、チューリップの花びらを浮かべ、季節感、地域特性を活かした工夫がされている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人ひとりの体調や室内の温度調節等に留意しながら休息できるよう支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	一人ひとりに応じた服薬の支援を行っている。薬が変更された場合は記録等で情報の共有を行っている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	チラシを見て「ここに行きたいな」と入居者様の外出希望がある場合には希望に沿えるよう取り組んでいる。また、貼り絵など制作意欲のある入居者様には季節に合った下書きを職員が書いて提供している。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	希望されたときに対応できないこともあるが、天候や利用者の要望に応じて外出の機会はつくるようにしている。また買い物など個別の要望も対応している。入居者様によってご家族が外出の機会の確保に協力してくれている。	桜・紫陽花・コスモス・菖蒲など季節毎の花見鑑賞への外出、ホームがある地元の伝統祭事であるかかしまつりへ、また、案山子の中田館で作成して出品している。日常的にはドライブや買い物へ出かけるなど、外出の機会を意識的に作っている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ドライブや外出先等で飲食や買い物をする機会を作っている。利用者によっては館内の自動販売機や移動売店の利用を支援している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	職員が窓口となり家族の要望に応じて電話の対応をしている。 手紙についても本人に手渡し見てもらっている。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	館内には、利用者と共に制作した季節感を感じられる装飾を施している。特に共同で扱う物や人数が触れるもの(手すりや椅子等)については消毒対応をしており、衛生面に注意を払い環境整備に努めている。	1日の中で一番過ごす時間の長いリビング兼ダイニングの共有フロアは、手作りの飾り物や訪問時には季節柄、こいのぼりに関連した物が飾られており、季節感が演出してあった。空調管理にも気配りがされ、居心地の良い空間となっていた。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	部屋や共有空間で一人で過ごす時間もあれば、気の合う方同士で過ごす時間も思い思いに過ごせるよう配慮している。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	家族には生活に必要なものや、本人の思い出のあるもの、使い慣れたものを準備するようお願いし協力してもらっている。居室や共有空間のスペースを加味しながら過ごしやすいよう工夫している。	ご家族の協力を得て、本人にとって大切な物や家族写真など持ち込んでいただき、仏壇などその方の希望に応じた部屋作りがなされており、居心地よく安心して過ごせるプライベート空間が作られている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	一人ひとりの状態に応じてトイレや部屋の場所の表示を作成する等、環境整備に努めている。		

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム中田館

作成日: 平成29年 5月 17日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	13	職員の育成(介護経験が浅い職員が多い)	<ul style="list-style-type: none">定期的な研修及び勉強会の実施外部事業所との交流機会の確保	<ul style="list-style-type: none">定期的実施している研修に加え、毎月の定例会議時に各スタッフが企画する勉強会を実施自主的に外部研修への参加を希望する者に対して、費用の補助や勤務の調整の協力を行う年に2回、職員個々の目標に対する実践状況の評価及び助言指導外部研修への参加機会を確保	12ヶ月
2	33	看護師不在の事業所の為、医療的背景が大きくなってきた方は契約終了となるが、基準が分かる書類がなく入居前にご家族に説明が出来ていない点。また、緊急時の職員行動の確立	<ul style="list-style-type: none">入居申込み時や契約時に重度化や看取りに対して出来る事、出来ない事を説明できる書類の作成緊急時に対応できるよう職員のスキルアップ	<ul style="list-style-type: none">重度化や看取りに対して、出来る事できない事を明記された書類の整備。研修及び勉強会を1年計画にて開催当法人で行う看取り研修への参加外部研修への参加機会を確保	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。